

# ケ ニ ー オーバークリップ仕様

(落下低減天井)

《当社のJISクリップに対応》

**シングル野縁**  
19  
25  
t=0.5

**ダブル野縁**  
19  
50  
t=0.5

**野縁受**  
38  
12  
t=1.2

**差込チャンネル接手**  
(X方向対策)  
②ねじ止め  
t=1.0  
全箇所：ねじ止め

**シングルクリップ (ダブルクリップ) & オーバークリップ1号 (2号)**  
オーバークリップ1号 (オーバークリップ2号)  
シングルクリップ (ダブルクリップ)  
ねじ止め：壁際においては@2700程度 (Z方向対策)

**シングル野縁補強ピース**  
ねじ止め  
② (Y方向対策)  
①ねじ止め  
t=1.6  
5mに1箇所程度

**ダブル野縁補強ピース**  
②ねじ止め (Y方向対策)  
①ねじ止め  
t=1.6  
斜めブレース使用時

**ねじハンガ外曲げ**  
M6ボルト  
ナット  
スプリング  
ワッシャー付  
ねじ止め (X方向対策)  
t=2.0  
ねじ止め：@2700程度

**壁際パー補強ピース**  
②ねじ止め (Y方向対策)  
①ねじ止め  
t=1.6  
ねじ止め：壁際@2700程度

※野縁受に当たるまで押し込むこと  
PUSH  
t=0.6

注) 以下の商品は添付されておりません。 別途購入願います。  
①のねじ (野縁接合用) : トルネードポイント フラットモドトラス 4×12 (ヤマヒロ) 同等品  
②のねじ (野縁受接合用及びブレース接合用) : ランスタッチジャックポイント トラス 4×13 (ヤマヒロ) 同等品

★ オーバークリップ仕様とは  
通常のクリップに対して、反対側からもうひとつ別のクリップを用いて、野縁受の両側からしっかり止める工法です。  
(倍の支点で野縁を保持します。)  
しかも、単にクリップを重ねるだけではなく、2個目クリップの羽根が1個目のクリップをしっかりホールドしているの  
簡単には外れません。

i) オーバークリップ 及び 野縁 (Z方向)  
JIS19形クリップに比べ、鉛直方向の強度の平均が約2倍、しかも施工上の「バラツキ」が少なく、最低強度の大幅なUPが図られます。

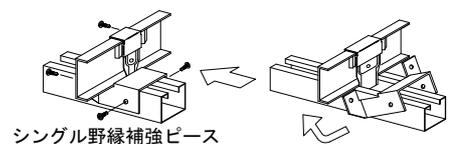
	強度 (推定弾性限度の2/3)
シングル野縁 オーバークリップ1号	約1000 (N)
ダブル野縁 オーバークリップ2号	

※ JIS19形の場合、クリップと野縁受の位置関係 (向き) により、大きく強度のバラツキが出てしまいます。また、施工上のバラツキによっても強度の数値が大きく変化します。 250~500 (N) (推定弾性限度)。

単純に通常のJIS19形の場合に比べて、最低強度が約3倍になります。(Z方向)

ii) 斜めブレース設置時

○野縁受方向 (X方向)  
野縁受到斜めブレースを取付 (ブレースが取りついた野縁受の前後2箇所のクリップで補強ピースを使用)



野縁補強ピースは野縁受の下を通すこと

○野縁方向 (Y方向)  
野縁受の上に直交するように、補強野縁受を取付ける。(Y方向) (補強野縁受の両端前後2箇所 (合計4カ所) のクリップで補強ピースを使用)

強度 (推定弾性限度の2/3)
約550 (N) / 箇所

◎ 落下低減天井とは

地震による天井落下の対策として、クリップ部分の補強・ハンガの補強・スベリ対策を行うことで、通常用いられている J I S 19 形天井の落下の可能性を低減させたものです。

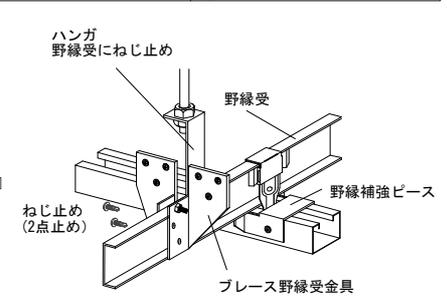
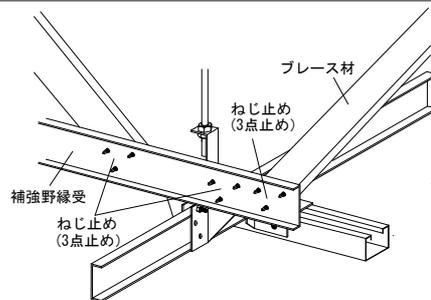
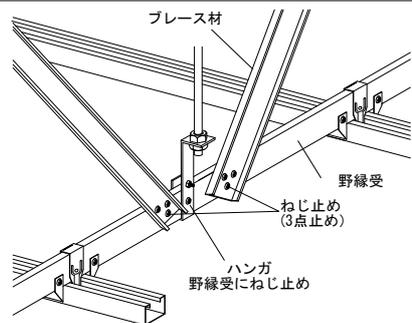
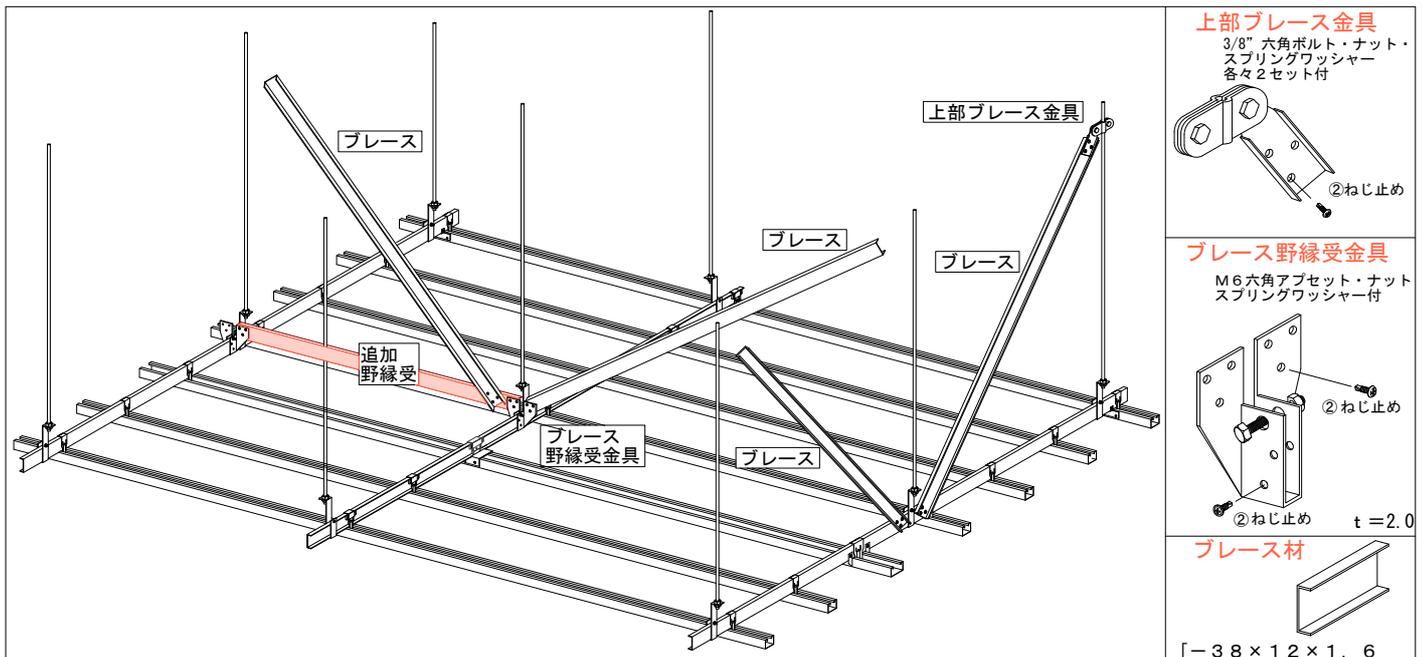
◎ 落下低減レベル別仕様比較表

野縁 : □-19×25×0.5 野縁受 : [ -38×12×1.2

仕様別	クリップ	ハンガ	野縁補強ピース	斜めブレース	その他	低減
1 通常天井	J I S クリップ	スナップハンガ	なし	—	—	弱
2 オーバークリップ補強 A	J I S クリップ + オーバークリップ (クリップの向きにより半分のみ)	スナップハンガ (@2700程度で ねじ止めを行う)	有 (シングル) (5mに1箇所程度)	—	主に改修用として、 部材を追加する場合	↑ ↓
3 オーバークリップ補強 B	J I S クリップ + オーバークリップ	ねじハンガ外曲げ		—	—	
4 オーバークリップ補強 C		ねじハンガ外曲げ (ブレース近傍のハンガは ねじ止め)	有 (シングル・ダブル)	[ -38×12×1.6	斜めブレースの設置	強

2. オーバークリップ補強 A は、既存天井を維持しながらの改修工事を念頭に、クリップの鉛直方向の補強 (半分)、野縁補強ピースによる水平方向の補強対策となります。
3. オーバークリップ補強 B は、クリップの鉛直方向の補強、野縁補強ピースによる水平方向の補強対策となります。
4. オーバークリップ補強 C は、斜めブレースの設置、クリップの鉛直方向の補強、野縁補強ピースによるブレース廻りの補強対策となります。野縁受平行で2個、直交方向では補強野縁受が付く野縁受に対して付けます。2列 (野縁受) × 2箇所 で合計4個

—斜めブレース配置例—



<http://www.nihonkenko.co.jp/>



**日本建工**  
株式会社

〒141-8650 東京都品川区上大崎2丁目25番5号  
 建材事業部 03-5436-6177 <FAX>03-3492-6301  
 統轄業務部 03-5436-6164 <FAX>03-5436-6182  
 工事営業本部 本社 03-5436-6166

※ 製品・工法改良のため予告なしに製品仕様 (形状・寸法・板厚) などを変更することがあります。